

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	就学事務事業		コード	担当課	学校教育課
			06-01-18-06	担当者	杉山麻里
事業実施期間			電話	64-1840	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効果的な行財政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	教育委員会			

事業について	
目的	就学・転入学事務等を円滑に行うことによって、小・中学校の児童・生徒に対してよりよい教育を提供する
対象(誰のために)	市内全小・中学校児童・生徒及びその保護者
内容	転出入時における事務 就学前健康診断の実施や小・中学校就学通知発送等就学事務 周知のための広報活動

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)	
広報活動	2回			
就学児健康診断通知	342人			
就学通知(小・中)	748人			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	0	国庫補助金等	
	人件費	3,050	受益者負担		人件費	3,050	受益者負担	
	合計	3,050	一般財源等	3,050	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.40	人			
結果指標①	結果指標名	広報掲載			
	結果指標量	2			
	単位	回			
	対前年比	—	0.00%		
	事業費	305,000	円		
	単位当たりコスト①	152,500	円		
結果指標②	結果指標名	就学児健康診断通知			
	結果指標量	342			
	単位	人			
	対前年比	—	0.00%		
	事業費	1,525,000	円		
	単位当たりコスト②	4,459	円		

事業の成果			
成果指標名	運営的な性格であるため、成果指標を示すことが困難である	式又は説明	無
	17年度		
成果指標量	無		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値	無	到達目標年度	無

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：学校教育法等
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	転入学・就学事務については、正確性を損なわずに、事務の簡素化を図るため手順の見直しを考えていくとともに、確固たる基準をもとに処理をすすめていく必要があると考える。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	2回	結果指標量②	360人
目標値	成果指標量		無

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	広く周知するため、HPに記事を掲載する	平成18年度	市外からの転入学予定者へも情報を提供することができる
効率性	市民課、保健課等と連携を密にする	平成18年度	就学・転入学における事務の周知の徹底ができる

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。